



新たな出発、^{たびだち}跳べ・駆けろ・越えて行け

〔成人祝賀会 1/13〕

湘南 ^{にのみや} 議会 だより

平成25年
12月定例会
12/6～12/13

- ◆議会で決まったこと…………… 2～3 P
- ◆議案、陳情に対する賛否…………… 4～5 P
- ◆一般質問で8議員が登壇…………… 7～11 P
- ◆平成26年私の抱負…………… 12～13 P
- ◆この人(ホープ)紹介…………… 14 P

3月定例会のお知らせ

2月25日(火)から開会の予定
本会議・委員会の傍聴できますーお気軽にどうぞー

議会で決まったこと

高波時の海岸 立ち入り禁止扉

設置の予算執行

平成25年10月に、児童2名が台風26号通過後の高波にさらわれ死亡・行方不明になった事故をうけての処置。高波波浪時に海岸に立ち入りできないよう、新たに24か所に鉄製の扉を設置する補正予算を専決処分で決定した。

これで海岸に通じる26か所すべての通路に扉が設置されることとなった。町は二度と不幸な事故を起こさないとし、職員が5チーム10人体制で扉の開閉を行う。
道路維持管理費等としての総額800万円は災



立ち入り禁止扉を設置

害対策基金から繰り入れた。二宮町建設協力会によつて昨年12月20日に工事は終了している。

問「適切な処置と判断するが、教育機関からの注意喚起は今までじゅうぶんだったのか」

答「児童に対する指導は、事前に行っていたし、今後も徹底していく」

全員賛成で可決

教育委員会委員に 山内みどり氏



教育委員会委員、井出真理子氏の任期満了に伴い、山内みどり氏が委員に新任された。

山内氏は二宮在住で60歳。二宮演奏家協会の会員として地域に根ざした音楽活動に精力的に取り組む、子どもたちとも多く接している。

任期は4年

本会議にて全員賛成で同意

条例の一部改正について

町長部局の定数を増員

職員定数条例

行政事務の増加や権限移譲による業務量の増加に対応するため、教育委員会職員の定数を減らし、町長事務部局の職員定数増を図るもの。

施行

平成26年4月1日から

下水道の延滞金割合の引き下げ

二宮都市計画下水道事業受益者負担金 及び下水道事業分担金条例

地方税法の延滞金の見直しに合わせ、受益者負担金並びに分担金の延滞金割合を国内銀行の短期貸出平均金利等を考慮し

施行

平成26年4月1日から

全会一致で決可

剪定枝資源化施設の整備運営に関する事務の委託に関する協議について

全会一致で決可

剪定枝資源化施設を町に整備して大磯町・平塚市・二宮町の剪定枝を処理するために、事務処理の経費負担や連絡会議の持ち方などを定める規約を作る。それを協議することを議会で承認した。

以下は委員会の質疑応答

問 規約第4条「手数料の収入」とは何を指すか

答 各自自治体に持込まれる直接ごみのことだ

問 事業者選定会議の進捗は

答 今月末に請負事業者を決定する。

処理は平成27年10月1日から始まる。



施設の建設予定地
(緑が丘一丁目工業団地内)

補正予算は

職員の異動による給与等の調整が主な内容

全員賛成で可決

栄通り子育てサロン 一時預かり事業を質疑

問 子育てサロンでの一時預かりの時間と年齢等の基準は。また、収入見込みはどのくらいか。

答 既に実施している百合が丘保育園と同じ内容で、受け入れ時間は8時30分から17時までで、対象年齢は生後6か月から修学前までとする。利用料収入は220時間分で8万7千円を予定。

問 長時間対応と当日申し込みなど緊急での預かりは可能か。一般利用の子どもも多いが一時預かりの希望者が多い場合の対応はできるのか。

答 時間内であれば長時間対応はできる。ただし、給食の設備がないため弁当等を持参してもらうことになる。当日申し込みは受け付けできない。希望者が多い場合は、一般利用の保育部屋も活用し対応する。

問 非常勤特別職報酬として保育士を1名増員したが、その方が一時預かりに専従するののか他の方と交代するのか。また、

庁用器具費30万2千円を計上したが内容は。

答 ローテーションを組み施設全体で運営する。設備の内容はベビーベッド1台、備品を置く棚、テーブル1台、椅子3脚、室内に敷くクッション性のマット、玩具関係、CDラジカセなどである。

問 「そだれん」の講座も同じ部屋で開催しているがその講座が不便にならないか。

答 今年度の講座は終了したが、来年度以降はサロンで実施するののか別の場所で行うのか検討する。



一時預かりが始まる
栄通り子育てサロン

(1月20日より3月末まで試行、4月本格運用)

項 目		補 正 額	主 な 内 容		総 額
一般会計		84万円	歳入	国庫支出金/▲127万円	78億809万円
				県支出金/ 202万円	
			歳出	一般経費/ 418万円	
				子育てサロン運営事業/ 132万円	
				健康診査事業/ 119万円	
				緊急対応時ショートステイ事業委託料/ 36万円	
				予備費/▲194万円	
特 別 会 計	国民健康保険	▲520万円	歳入	国庫支出金/ 105万円	36億5,133万円
				他会計繰入金/▲625万円	
			歳出	一般経費/▲625万円	
				退職被保険者等高額療養費/ 311万円	
	後期高齢者医療	441万円	歳入	予備費/▲329万円	6億8,494万円
				他会計繰入金/ 255万円	
			歳出	広域連合健康診査事業補助金/ 186万円	
				一般経費/ 181万円	
				保険料納付金/ 1,619万円	
	介護保険	▲427万円	歳入	健康診査事業/ 259万円	21億6,414万円
				予備費/▲1,619万円	
			歳出	国庫支出金/▲195万円	
	県支出金/▲97万円				
	下水道事業	▲12万円	歳入	一般経費/▲543万円	9億4,647万円
				介護給付費準備基金積立金/ 115万円	
			歳出	他会計繰入金/▲12万円	
	一般経費/▲12万円				

委員会で議論白熱

本会議では逆転“不採択”

陳情は
どうなった？

二宮町図書館が正常な運営と 奉仕がされることを求める陳情

「二宮町図書館の未来を考える会」が4千653名の署名を添えて提出。

内容は①正規専門職員（司書）の削減は、図書館運営と奉仕の低下につながり、学校図書館との連携も弱めるので、現状維持の4名から減らさないことを求める②資料費を削減すると町民が利用する情報量が減り、町民の生活の質を落とすことになるので図書館資料費の現状維持を求めるもの。

委員会では「採択」

12月9日に行われた教育福祉常任委員会では、各委員から陳情者や執行者に多くの質問や意見が出され、2時間を超える審査となった。

町長は「ラディアンができて10年が経ち、当時と同じことはできない時代になっている。光熱水費含めた総額8千万円の経費を5千万円にするよう3年計画を立てた。多くの署名に対しては、町の厳しい財政状況を伝える

切れていない行政の責任もあると感じている」と見解を述べた。

常任委員会では3対2で採択となったものの、最終日の本会議で、採択に賛成の議員が4名で、過半数に達しなかったため不採択となった。

不採択の討論として

「町の財政計画のもと、図書館もすでに利用者へのサービス確保の対策に取り組んでいる。町全体で公共施設の見直しを図っており、図書館も例外ではない。資料の削減が町民生活の質の低下につながるとは一方向的な認識だ」「図書館の町民満足度は1位であるが、その重要度は25位と低い。町民は防災や弱者対策など、他の政策のほうがより重要だと判断している。現状の司書の役割が正規職員でなければ果たせないとは考えにくい。資料調達の手段や方法も多様化しており、再考が必要」

介護職員の処遇改善 を図る陳情

9対3で趣旨採択

提出者は神奈川県医療労働組合連合会

内容は安全・安心の介護実現のための人材確保を図るため、①国の予算増と賃金改善の施策拡充②介護職員処遇改善を介護職員以外の職種にも拡大することを求めるもの。

賛成の討論として「介護職員の問題は長年悪化しており、給料は下がる方向だ。税金の無駄遣いを社会保障に回すべき」趣旨採択の討論として「国は介護職員の処遇改善を引き続き検討している。介護報酬の引き上げは保険料負担の増大に直結するため、事業者の自

助努力を求める」

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・ 大幅増員を図る陳情

10対2で趣旨採択

提出者は神奈川県医療労働組合連合会

内容は安全・安心の医療・介護実現のため看護師などの大幅増員・夜勤改善を図るため①夜勤交代制労働者の労働時間を限定し、労働環境改善の整備を行うこと②医師・看護師・介護職員を大幅に増やすための財政的支援の拡充を求めるもの。

採択の討論として「国は検討するというが改善したという話はない」趣旨採択の討論として「国は5局長及び6局長通知を出し、就業状況や労働時間などの改善を行っている。県は研修体制の確立や勤務環境の改善にも取り組んでいる」

平成26年度における
重度障害者医療費助
成制度継続の陳情

11対1で趣旨採択

提出者は神奈川県腎友会

会では、内容は障がい児者・透析者の医療費軽減のため、重度障害者医療助成制度の年齢制限を削除するよう求めるもの。

採択の討論として「年金額も減っている中、65

歳以上になったら、自己負担が増えること自体良くない」趣旨採択の討論として「年齢制限による障がい者は、介護保険や後期高齢者医療自立支援医療制度で負担軽減策がとられている」

平成26年度における 障害児者・透析者 を含む移動困難者 に対する陳情

11対1で趣旨採択

提出者は神奈川県腎友会、内容は患者や家族の高齢化に伴い、患者自身が自己移動困難者となっている。それに見合った福祉助成施策、送迎支援を求めるもの。

賛成の討論として「通院送迎が様変わりして、送迎費用として個人の負担が増大している」趣旨採択の討論として「医療費等の不足分は町が助成し移動困難者にはタクシー助成券48枚を支給。通院支援策の検討もしている」

図書館に関する陳情は

町長「来年度、子ども関連図書やおはなし会等に予算を増やす」

⇒ 委員会で採択され、



司書と一緒に子どもコーナーを利用する親子

採択の討論として

「専門性を持った司書の役割は、将来を見据えた運営と選書にある。臨時職員にその責務を負わせることはできない。資料費減額は読み聞かせなどに多大な影響を与えてしまう。町民ニーズをしっかりと把握すべきだ」「資料費については来年度予算子育て関連を増やし基金もある。陳情に沿うものだ。だが人員削減計画を、図書館協議会に

趣旨採択の討論として

「人員と資料の削減による影響は危惧するが、町財政の厳しい現状を考えると、図書館の今後のあり方は考え直さなければいけない」

諮らず決定したことが問題。支える民意を無視したといわざるを得ない」「税金の使い道として最も適した場所のひとつ。憲法で定められた文化的な生活を後退させてはいけない」

議案・陳情に対する賛否

	小笠原陶子	西山宗一	杉崎俊雄	浅賀一伸	神保順子	桑原英俊	脇正文	添田孝司	根岸ゆき子	近藤行宏	二見泰弘	三橋智子	池田宏	結果
町長提出議案名（左は議案番号）														
56 教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
57 専決処分承認を求めることについて（平成25年度二宮町一般会計補正予算（第4号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
58 二宮町職員定数条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
59 二宮都市計画下水道事業受益者負担金及び下水道事業分担金条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
60 剪定枝資源化施設の整備運営に関する事務の委託に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
61 剪定枝資源化施設の整備運営に関する事務の委託に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
62 平成25年度二宮町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
63 平成25年度二宮町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
64 平成25年度二宮町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
65 平成25年度二宮町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
66 平成25年度二宮町下水道事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情名（左は陳情番号）														
5 平成26年度における重度障害者医療費助成制度継続についての陳情	▲	▲	▲	○	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	趣旨採択
6 平成26年度における障害児・透析者を含む移動困難者に対する通院支援についての陳情	▲	▲	▲	○	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	趣旨採択
7 介護職員の処遇改善を図るため、国への意見書の決議を求める陳情	○	▲	▲	○	○	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	趣旨採択
8 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を図るため、国への意見書の決議を求める陳情	▲	▲	▲	○	○	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	趣旨採択
9 二宮町図書館が正常な運営と奉仕がされることを求める陳情	○	●	●	○	○	●	▲	●	○	●	●	●	●	不採択

※議案番号56～66について、○は議案に対する賛成、●は反対したことを意味しています。

※陳情については、○は採択、▲は趣旨採択、●が不採択です。

※池田 宏議長を除く12名の議員の賛否状況です。（議員定数14名のうち、1名欠員）

議会災害対応マニュアルを作成

二宮町議会及び議会議員は、震度5強以上の地震が観測された場合、又は台風等の風水害、河川氾濫及び土砂災害等の被害が確認され、町に災害対策本部が設置（3号配備）された場合には、非常事態に即応した役割を果たすため本行動マニュアルに基づき行動する。

災害発生	☐ 安全の確保 ☐ 本会議中は休憩又は延会⇒地域の活動支援
安否確認	☐ 安否確認情報システムによるメールを受信したら報告 ☐ メール送信がない場合、何らかの方法で議会事務局へ連絡
議員の役割	※別紙地区割表に割り振られた災害地区本部での活動 ☐ 地域（自主防災組織）で被災町民の救援・救助活動 ☐ 災害情報の収集 ☐ 災害時地区本部から広域避難場所へ情報伝達 ☐ 被災者に対する相談及び助言を自主防災と連携 ☐ 要望等を収集し自主防災へ報告 風水害の場合の行動はこれに準ずる
議長の役割	☐ 町災害対策本部からの情報を議員に提供 ☐ 今後の対応（活動方針）協議のため、災害状況に応じ、速やかに議員を招集して議会全員協議会を開催（注1）
議員の参集	☐ 二宮町で震度7以上の地震が発生した場合は、発生した日から起算して3日後の午前10時に参集することを原則（注1）
要望活動	☐ 議長は、被災の実情を踏まえ、国、県、関係機関等に対しての要望活動 ☐ 各常任委員会は、町の復旧、復興に必要な調査を行い、町施策に対する要望の取り纏め

（注1）役場の崩壊等で使用出来ない場合は、議長の指示する建物に参集

二宮町議会は平成25年4月から施行している議会基本条例第28条の中で「議会は危機管理体制を整える」と定め、その要綱で「議員は各町内会、自治会に協力し住民の救援にあたる」とした。その役割を果たすために議員の担当地区を決め、その一覧表を作成し、地区長連絡協議会で発表して協力を求め了解を得た。

しかしその後、要綱だけでは具体的な議員の行動がわかりづらいとの意見があり、さらに協議を進めるため昨年4月に、副議長を委員長とした7議員で行動マニュアル作成部会を立ち上げた。

そこで、8月25日の町内総合防災訓練の状況の検証と、他議会の事例の調査を行い、1枚のわかりやすい行動マニュアルとしてまとめた。今後の防災訓練や地域活動で徹底していく。

第二回 議会報告会 を開催！

9月議会定例会を終え、今年度二回目の議会報告および意見交換会（以下報告会）を実施した。第一回目の開催は町議会にとってもまったく初めての試みで、手探り状態での開催だったことから、今回はそこで気づいた課題や初回にご参加いただいた町民の皆様からのご意見などを参考にしながら、委員会での改善のための検討を重ねた。



地区長さんにも
お世話になって開催

報告会と意見交換会の明確な違いや、ポスター

討を重ねた。

報告会と意見交換会の明確な違いや、ポスター

富士見が丘
防災コミュニケーションセンター
参加者6名（10月27日）

一色防災
コミュニケーションセンター
参加者29名（11月1日）

梅沢老人憩いの家
参加者15名（10月29日）

質問は多岐に渡り、学校給食や道路拡幅による通学路の問題、また公共施設の老朽化による地域の課題、台風26号での海岸事故による諸課題等々、多くの質問や意見・要望が出た。

地場産品の学校給食への導入や鳥獣被害対策、また防災や環境問題への取り組みについてなど地域性の高い質問や意見が出た。

議会報告会の概略、アンケートでいただいた意見、または会場で後日回答するもの、町ホームページ（議会）に掲載しています。次回は3月議会後に開催。皆様のお越しをお待ちしております。

町政を問う

12月11日・12日の本会議では
8名の議員が9件の問題を行政側に質問した。
記事は本人の原稿に基づくもの。

発言残時間
42分2
現在時刻 1

一般質問

本会議場の手話通訳は
2人1組で15分交替。
発言者はゆっくり話す
よう求められている。

問 20地区の自主防災組織を同レベルに高める工程表なりを作成し、目標を決めて拡充強化を推し進める考えはあるか。

町民生活部長 町内全地区を同レベルに押し上げたい。初期段階における訓練を重点課題に掲げ、総合防災訓練にて実施。

問 地区長研究会の防災関連提言書をどう捉えているのか。

町民生活部長 提言された意見は真摯に受け止めて精査し、順次取り組んでいる。

問 防災指導員等に対し教育訓練の充実をどう図っていくのか。

町民生活部長 防災指導員の育成は必要不可欠。予算以上の成果を発揮できるように努めていく。

問 情報共有について、担当課と一体となった活動ができる体制の構築は。



近藤 行宏議員



地域集会施設は住民の意見を
じゅうぶんに取り入れて更新を

問 自主防災組織育成と
防災対策について

答 自主防災組織のより
一層の拡充強化を図る

町民生活部長 法改正により、平時時や災害発生時に避難支援者に情報提供を行うことができるようになった。要支援者対策を推進し、災害時に有効な体制を構築していく。

問 自主防災組織の拠点と成り得る防災コミュニケーションセンターの設置数は妥当なのか。

町民生活部長 施設や設備等の共有による多目的な利用の可能性や効果は、公共施設再配置に関する基本方針に示されている全町の、総合的な観点から検討する。建替え改修する場合には、防災機能を有した施設の建設を担当課と調整を図り、推奨していきたい。



桑原 英俊議員

問

発達段階に応じた
子育て支援をどう進めるか

答

子育て部門を強化し、
教育とも連携し取り組む

問 平成25年度を「子育て元年」と宣言した二宮町では、定住人口の確保に向けた計画達成のため、新しい部署の設立やプロジェクトが発足したが、発達段階における子ども育成課との関わりはどうか。

答 受付については慎重に対応する。

問 「そだれん」は児童虐待の未然予防になるのか。

子ども育成課長 「そだれん」は子どもへのほめ方や叱り方等を、受講者と一緒に考え練習するもので、効果がある。

問 社会教育分野で子育て

子ども育成課長 「そだれん」は子どもへのほめ方や叱り方等を、受講者と一緒に考え練習するもので、効果がある。

子ども育成課長 「そだれん」は子どもへのほめ方や叱り方等を、受講者と一緒に考え練習するもので、効果がある。

子ども育成課長 「そだれん」は子どもへのほめ方や叱り方等を、受講者と一緒に考え練習するもので、効果がある。

子ども育成課長 「そだれん」は子どもへのほめ方や叱り方等を、受講者と一緒に考え練習するもので、効果がある。

子ども育成課長 「そだれん」は子どもへのほめ方や叱り方等を、受講者と一緒に考え練習するもので、効果がある。



子育てサロンを核に
広がる親子の世界

問 「そだれん」は児童虐待の未然予防になるのか。

子ども育成課長 「そだれん」は子どもへのほめ方や叱り方等を、受講者と一緒に考え練習するもので、効果がある。

子ども育成課長 「そだれん」は子どもへのほめ方や叱り方等を、受講者と一緒に考え練習するもので、効果がある。

問 野良猫被害は社会問題として各地で対策が取られている。最近、地域住民の合意と協力の下で、「地域猫活動」として野良猫を適正に飼養管理する方法が取られ始めているが、町の見解はどうか。

町民生活部長 その活動は、地域の実情に合ったルールを作り、地域で責任を持つことになる。有効な活動だが、地域協力が不可欠なので、実態を踏まえ、町はアドバイザーの役割を担いたい。

町民生活部長 その活動は、地域の実情に合ったルールを作り、地域で責任を持つことになる。有効な活動だが、地域協力が不可欠なので、実態を踏まえ、町はアドバイザーの役割を担いたい。

町民生活部長 その活動は、地域の実情に合ったルールを作り、地域で責任を持つことになる。有効な活動だが、地域協力が不可欠なので、実態を踏まえ、町はアドバイザーの役割を担いたい。

町民生活部長 その活動は、地域の実情に合ったルールを作り、地域で責任を持つことになる。有効な活動だが、地域協力が不可欠なので、実態を踏まえ、町はアドバイザーの役割を担いたい。

町民生活部長 その活動は、地域の実情に合ったルールを作り、地域で責任を持つことになる。有効な活動だが、地域協力が不可欠なので、実態を踏まえ、町はアドバイザーの役割を担いたい。

町民生活部長 その活動は、地域の実情に合ったルールを作り、地域で責任を持つことになる。有効な活動だが、地域協力が不可欠なので、実態を踏まえ、町はアドバイザーの役割を担いたい。



三橋 智子議員

問

野良猫被害の軽減は
地域主体で図れるか

答

被害の実態を調査し、
協力者と共に対策進める

問 野良猫被害は社会問題として各地で対策が取られている。最近、地域住民の合意と協力の下で、「地域猫活動」として野良猫を適正に飼養管理する方法が取られ始めているが、町の見解はどうか。

町民生活部長 その活動は、地域の実情に合ったルールを作り、地域で責任を持つことになる。有効な活動だが、地域協力が不可欠なので、実態を踏まえ、町はアドバイザーの役割を担いたい。

町民生活部長 その活動は、地域の実情に合ったルールを作り、地域で責任を持つことになる。有効な活動だが、地域協力が不可欠なので、実態を踏まえ、町はアドバイザーの役割を担いたい。

町民生活部長 その活動は、地域の実情に合ったルールを作り、地域で責任を持つことになる。有効な活動だが、地域協力が不可欠なので、実態を踏まえ、町はアドバイザーの役割を担いたい。

町民生活部長 その活動は、地域の実情に合ったルールを作り、地域で責任を持つことになる。有効な活動だが、地域協力が不可欠なので、実態を踏まえ、町はアドバイザーの役割を担いたい。

町民生活部長 その活動は、地域の実情に合ったルールを作り、地域で責任を持つことになる。有効な活動だが、地域協力が不可欠なので、実態を踏まえ、町はアドバイザーの役割を担いたい。

町民生活部長 その活動は、地域の実情に合ったルールを作り、地域で責任を持つことになる。有効な活動だが、地域協力が不可欠なので、実態を踏まえ、町はアドバイザーの役割を担いたい。

町民生活部長 その活動は、地域の実情に合ったルールを作り、地域で責任を持つことになる。有効な活動だが、地域協力が不可欠なので、実態を踏まえ、町はアドバイザーの役割を担いたい。

町民生活部長 その活動は、地域の実情に合ったルールを作り、地域で責任を持つことになる。有効な活動だが、地域協力が不可欠なので、実態を踏まえ、町はアドバイザーの役割を担いたい。

町民生活部長 その活動は、地域の実情に合ったルールを作り、地域で責任を持つことになる。有効な活動だが、地域協力が不可欠なので、実態を踏まえ、町はアドバイザーの役割を担いたい。



適正飼養の意識啓発で
野良猫被害を減らしたい

問 野良猫被害は社会問題として各地で対策が取られている。最近、地域住民の合意と協力の下で、「地域猫活動」として野良猫を適正に飼養管理する方法が取られ始めているが、町の見解はどうか。

町民生活部長 その活動は、地域の実情に合ったルールを作り、地域で責任を持つことになる。有効な活動だが、地域協力が不可欠なので、実態を踏まえ、町はアドバイザーの役割を担いたい。

町民生活部長 その活動は、地域の実情に合ったルールを作り、地域で責任を持つことになる。有効な活動だが、地域協力が不可欠なので、実態を踏まえ、町はアドバイザーの役割を担いたい。

問 避妊・去勢手術費の助成をしている自治体もあるが、町の見解はどうか。

町民生活部長 地域で問題になっていないと判断し実施していないが、ボランティアの自費負担の実態調査をし、今後適切な支援の方法を検討する。

一般質問

問 集中豪雨時に避難判断水位を超える川の水量を減らし、氾濫を防ぐための治水施設や雨水流出抑制施設等、治水対策はどうか。

都市経済部長 着実に講じていかなければならないと思う。町も河川環境の維持向上に取り組んでいる。河川管理者の県に対し、早期に河川整備計画を策定し、工事に着手するよう要望していく。

問 水害対策として、近隣の町との情報共有はどのようにされているのか。

防災安全課長 足柄消防中井出張所の雨量情報を得ることは有効と判断している。

問 塩海橋南側に設置の県の水位観測カメラの情報は活用されているか。

町民生活部長 河川水位情報の一つとして把握しているが、元町老人憩の



脇 正文議員

問

葛川の治水・水害対策
取り組みについて問う

答

水害に対する意識を
高めていきたい



増水し濁流と化す葛川の恐怖
対策を急げ！

家に設置の監視カメラの情報で判断している。

問 風水害に対する避難訓練をどう捉えているか。

防災安全課長 自主防災訓練の申請書のメニューに現在加えている。

問 ゲリラ豪雨時の一時避難所について伺う。

町民生活部長 一時避難所を災害の種別毎に指定

し直すことを求める災害対策基本法の一部改正を踏まえ、適切に対応し、町民に周知していく。

問 住民に対する非常時の避難指示発令・伝達についてどう考えているか。

町民生活部長 あらゆる手段を活用し避難対象となる町民に確実に伝達していく。

問 現在の図書館ができて13年になるが、まだ住民の期待に答え切れていないと思う。図書館運営費用確保のために同じ生涯学習予算の、ふたみ記念館の運営方法を見直したかどうか。

教育長 予算は枠配分ではない。教育委員会のみではなく全体での削減だ。

問 土日の開館時間の延長を望む声がある。土日の片方だけでも開館時間を長くして、学生やお勤めの方々のニーズに対応できないか。また、ITふれあい館と連携した事業が実施できているのか。

教育委員会参事 利用割合は、平日利用が、全体の55%、土日、2日間で45%となっている。平日の時間帯のスタートを遅くして、その分を土日の閉館時間を延ばすということは難しい。まずは管



小笠原陶子議員

問

ラディアン図書館の充実と
ふたみ記念館の予算削減を

答

図書館3か年計画実施
ふたみ記念館人員削減



ふたみ記念館では
14名のボランティアが熱心に定例会議

理運営の見直しの3か年計画を実行する。今、そのようなことを議論している余裕がない。ITふれあい館との連携は、可能性を研究したい。

問 図書館は連日1千人の利用があるがふたみ記念館の来館者数は伸びているのか。また、人員配置を見直し経費削減を望むかどうか。

参事 来館者数は、24年度は4千161人、無料で来館された方がそのうちの3千596人。今年度は11月末までで999人となっており、昨年と同様のペースで推移し、平均4・66人の利用。人員配置は、現場と調整し可能な限り削減する。



浅賀 一伸議員

問 児童福祉法第24条には、明確に市町村の責任が記載されている。不安な時代だからこそ0歳児からでも預けて働きたいと考える保護者は多い。町には常に安心して保育園に預けられる環境が求められているが、待機児童や入所状況はどうなっているか。

子育て担当部長 年度当初の待機児童はゼロ。ただ年度途中になると数名出る。町内保育園に定員より受け入れを拡大して入れてもらうか、次年度まで待ってももらうなどの対処をしている。

問 都合によっては町外の保育園に入れたいという事もあり得る。認定保育園は基準を充たし、保育の質の向上も義務付けられている。市町村が補助金を出すと決めれば県も出すことになっている。

問

保育環境改善のためにも
管外認定保育園に補助金を！

答

補助金なら安価で効率的
だが気になる部分も

町は補助金を出しているが。

子ども育成課長 認定保育園は認可外のため、出していい。

問 認可外だからこその自治体の子どもで、0歳児でも柔軟に受け入れられる条件がある。補助金を出してはどうか。また町として、新規の施設など考えはあるのか。

町長 「子育て」という大きなテーマの中、様々なことを考えているがなかなか「やる」とは言い切れない状況だ。施設を作るなら補助金を出す方が効率的で安く済むのでその方がよい。ただ子どもを預ける責任もあるもので、なぜ認可にならないのかは調べたい。



安心して「子育て・子育ち」できる
環境づくりで地域を元気に！



根岸ゆき子議員

問 予算編成方針が公開され2年目となる。方針の中では「聖域を設けず取捨選択の判断が迫られる」と考えを示した。引き締めてきた財政と、投資をしてきた土地所有などの財産に対する事業展開のバランスをどう保ち今後を迎えるのか。

政策部長 特定の分野に限定することなく財源の適正配分をし、総合計画に基づき着実に事業を推進する。

問 事業の優先順位のつけ方に行政評価のあり方をどう変えるのか。

企画政策課長 今までの手順では評価の反映に時間がかかりすぎていたので、次年度には、反映できて町民の方々にわかりやすい仕組み作りを検討している。

問 予算編成の検討過程を公表してほしい。

問

来年度予算編成方針の
「取捨選択」の考え方を問う

答

行政改革とともに、財源と
事業の適正配分をする

財政課長 当町ではまだやっていない状況で、事務量との兼ね合いもある。

問 数値だけの公表ではなく、考え方が明らかにする方法を検討しては。

財政課長 できるところから研究する余地はあると思う。

問 風致公園は土地の購入と4年の開発に投資を

してきた。来年度重点事業のひとつでもある。日帰り観光の活性化策となる維持管理ができるのか。

町長 現在は駐車場機能として吾妻山の賑わいに貢献している。今後ディアンを起点として公園等の施設をつなぐトロコバスのようなものを出す有効活用も考えている。



「公園のネットワーク化」
としての拠点となるか（風致公園）

一般質問



神保 順子議員

問 本年4月より子宮頸がん予防ワクチン（以下ワクチン）が定期接種化された。しかし杉並区でのワクチン接種での深刻な副反応の事例を発端として、全国的に被害者の会が立ち上がった。国では検討部会を持ち、現在は接種の積極的勧奨は控えるよう各自治体へ通知している状況である。

県内ではすでに、鎌倉市や大和市がこれまでのワクチン接種者全員に対し、独自で追跡調査を行った。町でも実施すべきと考えるがいかがか。

健康福祉部長 今回の事例を受けて文科省が学校を通じて調査を行った。町でも2中学校で実施し、該当者はなかったと報告を受けているため、町独自の調査は行わない。

問 文科省が行った今回の調査は、被接種者で30

問

子宮頸がん予防ワクチン接種者への一斉追跡調査をせよ

答

調査の必要性はない

日以上欠席した者を基準とした調査だ。この調査では詳細な実態把握は困難である。実際に鎌倉市、大和市が行った調査の結果から、文科省の調査ではわからなかった様々な実態が明らかになった。対象者へワクチンのメリットとデメリットをしっかりと情報提供し、接種後の実態把握を行い国へ

報告をあげることが、実施主体である町の責務と接種する子ども達への誠意ある対応であると考えがいかがか。

健康福祉部長 部内で追跡調査の検討を行ったが、調査目的と結果の使い道を明確にできなかったので実施はしない。（他、介護保険について）

対象者全員へ正しい知識と情報提供を!!



総務建設経済常任委員会の活動報告

禁煙条例制定について

路上喫煙に関して行ったアンケートの集計をまとめた。286人の内、喫煙マナーの向上が必要（80%）、喫煙所の設置が必要（68%）、路上喫煙禁止の条例が必要（50%）との結果になった。

先に行った他市町の条例研究や静岡市視察、駅前の実態調査と合わせて、委員全員で今後の方向性を決め、その後、関係担当部長等と勉強会を持ち意見交換を行った。

まずは喫煙マナー向上対策を町に政策提案した後、その効果から判断し、条例作成の時期を見極めることとした。

公共施設更新について

10月16日に秦野市・公共施設再配置推進課の志村高史専任主幹を招き講演会を開催し、先進事例を学んだ。

二宮町も昭和40年代以

降に建設した多くの施設が更新時期を迎えているが、財源不足の中で、いかに政策策定するのかとの課題に、大いに参考となる内容であった。

委員会は今後、町の「公共施設白書」と「再配置に関する基本方針」をもとに検討を行うため、必要となる資料の収集と作成を、町側と調整しながら進めていく。

有害鳥獣被害地の視察



イノシシ捕獲檻の仕掛け現場

一色地区で行った議会報告会の際、「議員は鳥獣被害の実態を直接見る機会を設け、積極的に関わらるべき」との意見が出された。

12月2日に数か所の被害現場を視察し、数種類の鳥獣の状況を確認した。

担当課がすでに行っている補助制度や調査結果をふまえながら、農業者5名と意見交換を行った。

教育福祉常任委員会の活動報告

「子育て」テーマで継続

教育福祉常任委員会では、第1回議会報告会に寄せられた、学校給食に対する調査を行い、試食と同時に給食センター長や管理栄養士との話し合いを持ち、「健康な児童を育てるために学校給食は質量共に充分であるか。」という声に対しての結果をまとめ、第2回議会報告会において常任委員会としての報告を行った。また、議会報告会において参加者から寄せられた声に対し勉強会を2回開催し、委員会としての答えをまとめた。

今後については、「子育て」について、子ども達の現状を知るための調査を行い、条例制定に結び付けられるように調査・研究をしていくことと決めた。

決意新たに2014

11月の改選に向け、ラストスパート！

私の抱負



二宮町議会
議長
池田 宏議員

教育福祉常任委員
(無所属) 二宮1211

26年の新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は議会基本条例が制定され、議員全員参加の下、議会報告会・意見交換会を開催致しました。今後、議会基本条例が定着し、議会報告会・意見交換会が議会の重要な位置付けになるものと期待しています。

今、地方自治体では、高度成長期の急速な人口増加で多くの公共施設が整備されました。現在それらの施設の老朽化が進んでいます。

二宮町も同様で、今後の公共施設のあり方を検討し始めました。

議会では、この課題に対し

て総務建設経済常任委員会が施設の再配置問題を含めて取り組んでまいります。その他、同委員会では路上喫煙対策についても取り組んでいきます。

教育福祉常任委員会では、次世代を担う子どもを安心して育てられる町づくりをテーマに取り組んでいきます。

両常任委員会では継続調査をしっかりと行って、提案型の結論になることを期待します。

本年も議会のチェック機能を果たすため、議員一同、自己研鑽に励み、活発な議会活動に取り組んでまいります。

最後に、皆様のご健勝とご多幸を祈念して挨拶いたします。

副議長



小笠原陶子
議員

総務建設経済常任委員
(無所属) 百合が丘211010

皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられていらっしゃると思いますでしょうか。

さて、今議会は今年の11月で議員任期が終了いたします。悔いのない仕事をしていきたいと気持ちを引き締めております。今年も二宮町が、人口減少や少子高齢化の中でも、

町民同士、温かく交流の持てる、文化あふれる町として存在感を示せるよう努力してまいります。

小さな自治体は、国の政策が変われば大きな影響を受けます。消費税増税や税制改革による影響を注視していきます。また、安倍政権による「戦争のできる国日本」に舵を切られた中で、子どもたちを戦場に送ることの無いよう、私たちにできることを模索してまいります。幸い二宮町は、ガラスのうさぎ像平和と友情のつどいを実施し、戦争の恐ろしさや愚かさを伝える続けています。今こそ若者の政治参加が求められています。そのための情報発信に努めます。



添田孝司
議員

総務建設経済常任委員長
(無所属) 二宮59214

二宮町は少子高齢化が国、県より先行している。人口減少傾向も顕著であり、高度成長期に建設された多くの公共施設の更新時期が迫っている。まさにフロントランナーであり、前例や他に例のない将来に向けた町づくりが求められる。議会の役割が担えるよう一議員として頑張ります。



西山宗一
議員

総務建設経済常任副委員長
(無所属) 山西562

ネット社会が益々加速する中、町民のニーズを的確に捉え、厳しい町財政だが、より効率的、効果的な成果を上げることが不可欠。住民と議会の距離を縮め議会活動を活性化させるため、議会基本条例の推進に全力を注ぎたい。己の個に溺れず、将来像を見据えた町づくりに取り組みたい。



杉崎俊雄
議員

総務建設経済常任委員
(無所属) 山西65

アベノミクスによる経済効果も地方にはまだ先のこと。緊縮財政のもと行政もあらゆる手段を用い始末(節約)をしている。本年も心新たに町の将来を見据えたまちづくりを念頭に、町民の想いを町政に反映させるため、是々非々で取り組み「すべては町民のため」を実践します。



近藤行宏
議員

総務建設経済常任委員
(無所属) 松根18-6

この3年間、新人議員として多くの課題に、全力で突き進んできました。改選までの1年間、皆さまの期待に応えられるよう更なる研鑽を積み、議員としての資質向上に努力いたします。もとより、皆様の代表であるという自覚を十分に持ち、町政全般の諸問題に今後もしっかり取り組んでまいります。



協 正文
議員

教育福祉常任委員長
(無所属) 中里696-1

まちづくりは人づくりから。年配者と若者が融合したまちは、伝統を守り、他人を思いやる人が育ち活気が増す。そこに人々が羨む創造の町「湘南二宮」の輝きが生まれる。これからも、町民の皆様の声をたくさん頂き、住みよい町づくりを訴え、努力していききたいと思います。



神保順子
議員

教育福祉常任委員
(神奈川ネット) 富士見が丘2-10-28

昨年は議会基本条例による議会報告会を初めて実施し、町民の皆様に、より身近に感じて頂ける議会を目指して、推進委員会の副委員長として活動をしました。ご参加頂いた皆様からさまざまなご意見、ご提案等も頂きました。今年も議員としての役割をしっかりと果たしてまいります。



二見泰弘
議員

教育福祉常任委員
(無所属) 二宮832

現在町財政は、医療費等の増大で、年々圧迫されてきています。10年後を見据えたとき、高齢者の増大・団塊の世代の後期高齢化により、今後医療費の改革をしなければ、財政は破綻してしまいます。わたしはこの医療費など本年は改革できる所は改革を進めたいと思います。



桑原英俊
議員

総務建設経済常任委員
(無所属) 二宮884

美しい自然に囲まれた長寿の里、二宮。吾妻山から見るご来光は、広大な自然のパノラマを見ているようで、気持ちを新たに姿勢を正し、初心にかえって町民お一人おひとりの声を大切に、町政に届けてまいります。素晴らしい町にするために力を尽くしてまいります。



三橋智子
議員

総務建設経済常任委員
(公明党) 緑が丘1-4-10サンヒルズ西山

昨年を表す漢字は「輪」。五輪開催の明るい話題に向かつて、皆の心が一つになると喜びも倍増するものです。議会も報告会で町民の皆様と「情報」を共有しようと努力を重ねた1年間でした。厳しさも感じましたが、次につなげるために、多くの課題を克服する1年としていきます。



浅賀一伸
議員

教育福祉常任副委員長
(日本共産党) 二宮92シーサイドヴィラ

無我夢中で議員活動に取り組む中、気がつけばあつという間に3年間が経っていました。最近では町民の方からの相談も増え、厳しい社会情勢の反映をこれまで以上に強く感じております。この先には明るい未来が待っていることを信じ、信念を持って頑張っていきます。



根岸ゆき子
議員

教育福祉常任委員
(無所属) 緑が丘3-14-4

人間万事塞翁が馬というように、世間に禍や福が確実に来るといふ予測はできませんが、ひとつでもウマく進んだ、という事が見える議会として、総力を上げる時が来ていると思っています。私も年女、鼻息はほどほどに、見かけも中身も穏やかに走り続けてまいります。



オリーブの 先駆者



濱田 治郎さん(45歳) 百合が丘

第150号記念

★わが町の ★ホープ★紹介

走り抜く 青春像



小坂 太我さん(16歳) 緑が丘

町は耕作放棄地対策のために、2012年度を「オリーブ元年」とし、4年計画で農家へのオリーブ苗木購入補助を行っています。そのきっかけを作ったのは、中里の山腹にある「ユニバーサル農場」の濱田治郎社長(45歳)です。

同農場は、濱田さんの父君が経営する国際特許事務所が、海外の種苗会社などから依頼されて花などを試験栽培する農場です。同氏は7年前に、大手ゼネコンを退社し、

同農場は、濱田さんの父君が経営する国際特許事務所が、海外の種苗会社などから依頼されて花などを試験栽培する農場です。同氏は7年前に、大手ゼネコンを退社し、

小坂太我選手は、全国の高校生ランナーの憧れである全国高校駅伝に出場し、1年生ながら、アンカーとしての大役を果たしました。

所属する藤沢翔陵高校は、11月2日に神奈川県大会で3連覇という快挙で優勝を決め、小坂選手はその際にもアンカーとして出場し、12月22日の京都市での大会に向け準備をしていました。その後、補欠で出場チームの選考に入り、前日の監督指名で、アンカーとして

オリーブ栽培に取り組まれました。試験的に進めてきた栽培が順調に進み、3年前にオリーブオイルが商品化された折り、坂本町長を表敬訪問されたことが、その後の町の取り組みにつながりました。今年も、秋の取り入れが順調に進み、100本の木から、1トンの収穫量があったとのこと。

この冬の仕事は、農場をオリーブ栽培のみに絞るため、今まであったブドウ畑を撤去し、あらた

出場することになったのです。試合は、21番目にタスキを受け、途中、後続1名に抜かれたものの、必死で追い抜き、21番を死守しました。小坂選手は、一色小学校時代はFC二宮でサッカーをしていましたが、二宮中学校では陸上部に所属し数々の大会に参加し、頭角を現しました。進学は悩んだ末、自分の夢を現実にするための第一歩として強豪校である藤沢翔陵高校を選んだそうです。

暮らしぶりを伺うと、

にオリーブ50本を植樹しました。同時にビニールハウスでは、オリーブ苗の育成と、作業は絶え間なく続きます。

町が取り組むオリーブ事業の展望を伺うと、「まだ規模が小さいけれど、栽培量が増えていくことによって、先が見えてくる。」と、先駆者ならではの自信を感じました。

そんな濱田さんの趣味はゴルフで、シングルの腕前。練習も定期的に行かれ、先日は商工会主催の親睦ゴルフ大会に初参

「長距離選手は規則正しい生活は当たり前。10時には就寝し、6時半に登校」走る目的は「両親・祖父母はじめ、お世話になった方々への恩返し」後輩へのアドバイスは「自分自身全国へ行ける

と、先駆者ならではの自信を感じました。

加されたとのこと。好きな音楽は、ファンキーモンキーベイビーズや、安室奈美恵と、気さくな一面も垣間見えます。

町のオリーブ事業の成功のために、惜しみなく協力をしてくださる濱田さんの姿勢は、大変に有難いものと改めて感じました。



と、先駆者ならではの自信を感じました。



神奈川県大会トップでゴール！

編集室だより

4年ぶりに「デフレ」の表現が消えた月例経済報告を内閣府が公表した昨年末、議会だより編集委員会は編集作業が大詰めを迎えていた。

当委員会の委員は従前より志願制であったが、7年前から任期4年の中で2年間担当する、昔で言う「年季奉公」制とした。ところが1名欠員が出たことや、他の委員会構成の都合でやり繰りがつかず2人の委員が3年も引続き担当して頂いた。感謝の限りである。

文章表現には「ですます調」と「である調」があるが、議会だよりでは、「である調」を用いているため文語体の堅い表現になっている。何卒、お許しいただきたい。(杉崎)

と、先駆者ならではの自信を感じました。

- | | |
|-----|-------|
| 議長 | 根岸ゆき子 |
| 委員長 | 近藤 行宏 |
| 委員 | 杉崎 俊雄 |
| 委員 | 桑原 英俊 |
| 委員 | 脇 正文 |
| 委員 | 三橋 智子 |